

ペンギンの会 ニュース

No.30 2015.GW

4月に入っても、冷え込んだり雨が降ったりで体調が優れない近頃ですが、ペンギンの会を支援くださっている皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

私はこの半年ぐらいで、右目の視力が0.04になり、ほとんど見えない状態になっています。何とか工夫して、日常生活は維持できてはいますが、他の疾患もあるのでしんどい毎日ではあります。まだ学生さんた

ちも関わってくれてはいますが、今年2月から是有償の介護者も増やし、一人でいる時間がほとんどない生活になりました。なんとか自立「障害」者としての生活を地域でこの先も送れるように踏ん張りたいと思います。先日、東日本大震災で被災した「障害」者の支援で街頭カンパを行ってきました。いつものようにビラをまく人、マイクでアピールする人、その場で集まった人たちで声を出し、3時間やりきることができ、本当に感謝でした。参加して下さったみなさん、風がきつく寒い中、本当にお疲れ様でした。たとえ年に1回、2回になっても、街頭に立ち続けたいと思います。「震災はまだ終わっていません」、「風化させたらアカン！」等々、声を上げていかなけ



ればと、震災から4年が過ぎた今、あらためて強く思われました。自分たちができることを考え続けていきます。

ペンギンのメンバーも、皆なんとかやっています。それぞれ体調管理に追われ、毎日の生活で精一杯だったりします。私たちはやはり普通ではないのでしょうか（笑）これからもポチポチ生かされてゆきたいと思います（年々厳しい状況になっていくとは思いますが…）。ペンギンを支援くださっている皆さんも、こんな世の中ですから色々大変な事ばかりでしょうけど、なんとか耐えしのいでくださいね。これからもよろしくお支えください。

イチョンミ
李清美

さくねんどまつ こうくうてい さいはつ しゅじゅつ
昨年度末の口腔底ガンの再発から手術、さ
らには術後に発症した脳幹梗塞を乗り越え
て、2014年5月に三宅さんは無事ペンギンの会
に復帰してられました。脳幹梗塞による
嚥下能力の低下から懸念された誤嚥の発生
を避けるための、気管と食道を分離する
手術を行ったことによって、声こそ出せな
くなりましたが、文字盤や身振り手振りを使っ
たその話しぶりはいつもの三宅さんのままで
した。

ご つき いちど ていき けんさ
その後も、月に一度の定期検査でガンの
再発・転移の有無を調べていたところ、左
下顎の部分に口腔底ガンの再発が見つかり
ました。10月7日に入院され、9日にただ
ちに手術が行われました。今回の手術で
は、左下顎部分が骨も含めて大きく切除さ
れました。その切除部分の代替として
大胸筋が切り取られ、切除した左下顎
部分にあてがわれるという処置がなされまし
た。朝早くから始まり夕方近くまでかかると
いう、かなり長時間の手術となりましたが、
無事に成功しました。

しゅじゅつちよくご しゅじゅつ ぶい ぼうちよう
手術直後こそ手術部位の膨張によって
嚥下が困難な期間もありましたが、徐々に
手術部位の安定とともに嚥下状態も回復
し、刻み食を食べられるようにまでなりまし
た。そして翌月11月28日には無事退院されま
した(その退院翌日には、何とすぐに繁夫妻の
結婚お披露目パーティーに参加されました！)。

しゅじゅつ いぜん こうしん かいへい
ただし、手術以前よりは口唇の開閉が
若干困難になり、口に含んだものが口角か
らこぼれ出しやすくなっています。とはいえ、
細かく刻めば大概のものは食べられるという
ことで、退院後もまた好きなものを食べ、好き
な酒を飲み、といういつもの生活に戻ってお
られます。

いっさくねん さいしょ はっけん に
一昨年の最初のガンの発見からこの二
年弱の間に三度の入院、四度の手術を
へ経てこられた三宅さん。ガンになったことにも、
大変な手術を迎えることにも、そして術後
の体の変化にも全く気落ちすることなく
(本当に全く気落ちしているように見えな
いのです！)、あらゆる局面を明るく乗り越
えていく姿には本当に舌を巻いてしまいま
す。このへこたれない姿、ぜひ見習いたいと言
いたいところですが、この本当にあまりにも
へこたれなさは常人にはさすがに見習うべく
もないのかもなあとおもったりもします…。
(記/田原)



おも かたち び
【思わぬ形 でかこんだ “たき火”】

ここ数年は、メンバーの体調など色々な事情が重なり、恒例の秋レク(レクリエーション)は、日帰りのものを、9月・10月の2回に分けて行っています。昨年9月の泉南方面行きのレクにつづいて、10月15日(水)、宇治市の京都YMCAリトリートセンターというキャンプ場まで、“たき火”に行きました。

たき火と言っても、昔の街角でどこでも見られた、いわゆる“落ち葉たき”程度で、“…あたろうか あたろうよ…”と、数人が暖を取れるほどの小ぢんまりしたものでした。そんな小規模な“たき火”のために、どうして重度障害者のグループがわざわざ足場の悪いキャンプ場まで出向く(それも車いすの人が4人!?) ことになったのかは、いつかの月イチの会議のあとに、ユグチがふと話した、あることがきっかけでした。



まだユグチが自足歩行可能な十代の軽度障害者だったころ、キャンプやハイキングで飯盒炊爨(こんな漢字書くんですわね!?) や煮炊きをするために必要な火をうまく起こすことができませんでした(わずかな枯れ草だけをたき付けにして、マッチすら使わずに摩擦熱だけで見事な炎を起こせる人がいますよね)。その事がいまだに後を引いて、今でも時折思い出しては、自己嫌悪に陥ってしまうほど…(自分では、自己嫌悪に陥ってしまうほど…(自分で言いますが、火起こしだけでなく、大オノを振るって薪を割るとか、歩測でだいたい距離をはかるとか、そういう人間が野外で最悪生きのびるために不可欠な作業が、昔から絶望的にヘタクソでした。これ、障害で身体動きにくいとか全然関係ないんです…))。上記のような話をしたところ、『よっしゃ、それやったら、キャンプ場行って火起こして、みんなで暖まろかい!』という声が挙がり、今回のレクで…ということになったのです。

少し別の話ですが、ペンギンの会前代表の故・高橋公子さんが生前、障害のために幼い頃から座位で生活しておられたこともあり、(座ったまま火の番をしてられる、ということで)「風呂焚きの火起こしなんて、子供の頃から毎日やらされてたわよ」という話をしておられました。その会話のさいに、ユグチが先に

書いた、絶^{ぜつ}望^{ぼう}的^{てき}にそ^さうい^{ぎょう}う作^さ業^{ぎょう}がダ^だメ^めだ^だった
 話^{はなし}を^をす^すると、あ^あの、歯^はに衣^{きぬ}着^きせぬ^ぬは^はっ^っき^きり^りし^し
 た口^{くちよう}調^{てう}で、「あ^あな^なた、そ^そん^んな^なこ^こも^もよ^よオ^お出^で来^きな^な
 かつた^{かつた}の^の！[！]？[？] ホ^{おほ}ント^{んと}に何^{なに}を^をや^やっ^って^ても^もダ^だメ^めだ^だ
 わ^わね^ねエ^エ」と^とや^やり^りこ^こめ^めら^られた^{れた}の^のを^を覚^{おぼ}え^えて^てい^いま^ます^す。
 (ま^まあ、紛^{まご}う^うこ^ことな^{じじつ}き^{かん}事^し実^{じつ}な^なので、こ^これ^れに^に関^{かん}し^し
 て^ては^は何^{なん}も^も二^にの^の句^くの^のつ^{つけ}け^けよう^{よう}が^がな^{ない}い^いで^です^す…)



じん^{じょ}わり^{じょ}と、し^しかし^{かし}徐^{じょ}々^{じょ}に身^{からだ}体^{てい}の芯^{しん}ま^まで^で暖^{あた}ま^ま
 る^る焚^たき^き火^びを^をみ^みん^んな^なで^で囲^{かこ}み^みな^なが^がら、日^ひ暮^ぐれ^れが^がと^とて^て
 も^も早^{はや}い^い秋^{あき}の^の谷^{たに}間^まで^でし^すば^ばし^し過^すご^ごす^すこ^こと^とが^がで^でき^きま^ま
 した^{した}。

ただ、4^{にん}人^{くるま}も^{しょうがい}の^{しゃ}車^{じめん}イ^いス^い障^{しょう}害^{がい}者^{しや}が、地^じ面^{めん}が^がむ^む
 き^だ出^{やま}し^{おく}の^こ山^だ奥^{おく}の^お木^ほ立^のち^おの^おな^おか^おで^で大^{だい}き^きな^な炎^{えん}を^を
 囲^{かこ}んで^{いて}い^いる^ると^とい^いう^う光^{こう}景^{けい}は、日^ひ頃^{ごろ}な^なか^かな^なか^か眼^めに^に
 す^いる^いこ^この^のない^い一^い奇^い観^{かん}だ^だつ^つた^たと^とい^いえ^えま^まし^しょう^う。
 当^{とう}事^じ者^{しや}が^がい^いう^うこ^ことな^なので、ど^どう^うか^かこ^こう^うい^いう^う書^かき^き
 方^{かた}す^する^るの^のを^をご^ご容^{よう}赦^{しや}い^いた^たき^きたい^{たい}の^ので^です^すが、
 い^にさ^{ほん}さ^むか^し『ま^まん^んが^が日^に本^{ほん}昔^{むかし}ば^ばな^なし』風^{ふう}に^い言^いっ^って^て
 み^みれば、『…よ^よく^く見^みて^てみ^みる^ると、た^たき^き火^かを^を囲^{かこ}ん^んで^で
 い^いる^るの^のは、こ^この^のあ^あた^たり^りで^では^は見^みか^かけ^ける^るこ^この^のない、
 何^{なに}や^やら^ら得^え体^{たい}の^の知^しれ^れぬ^ぬ者^{もの}た^たち^ちば^ばか^かり^りで^でした^{した}」

↑
 い^{いち}は^はら^らえ^えつ^つこ^こ
 市^お原^も悦^つ子^{ふん}さん^{いき}の、あ^あの^の思^しい^い詰^めた^た雰^{ふん}囲^い気^きで^で
 ひ^ひみ^{みつ}つ^つこ^こく^くは^はく^く
 秘^ひ密^{みつ}め^めいた^{いた}告^こ白^くを^をす^する^るよ^よう^うな^な独^ど特^{とく}の^の声^{こえ}の^の
 よ^よく^くよ^よう^う
 抑^{おさ}揚^{えい}で^で…。

ユグチマコト



キャン^{じょう}プ^ぷ場^ばの^のファイ^{さい}ヤ^{しよ}ース^{しよ}ペ^ペース^{ース}で^での^の最^{さい}初^{しよ}
 の^{ふる}古^{しん}新^{ぶん}聞^{しん}紙^しへ^への^のた^{かい}き^{じょ}付^うけ^うは、介^{かい}助^{じょ}を^を受^うけ^けな^なが^がら^ら
 ユ^すグ^{じつ}チ^ちが^がマ^まツ^つチ^ちを^を擦^さら^らせ^せて^ても^もら^らい^いま^まし^した^た(実^{じつ}は^は
 筋^{きん}ジ^{しん}ス^{こう}ト^{こう}ロ^ろフ^ふィ^いー^あの^く進^{りょく}行^{りょく}で、握^{あく}力^{りょく}が^がほ^ほと^とん^んど^ど
 ゼ^おロ^ろま^まで^で落^いち^{っぽん}て^てい^いて、い^いま^まや^や一^い本^{ぽん}の^のマ^まツ^つチ^ち棒^{ぼう}
 を^むつま^ずむ^むこ^こも^も難^あし^かい^きん^きです^す)。集^あめ^つた^か枯^きれ^き木^き
 の^や山^まに、な^{ひと}ん^とか^す一^ひ擦^さり^りの^のマ^まツ^つチ^ちで^で火^ひが^がつ^ついた^た
 新^{しん}聞^{ぶん}紙^しを^をく^くべ^べて^ても^もら^らう^うと、勢^{いき}い^いよ^よく^く火^ひが^が燃^もえ^え
 始^はめ^めま^まし^した^た。火^ひは^は3^{じかん}～^{あい}4^だ時^{よう}間^いの^の間^間、用^{よう}意^いし^し
 た^ま薪^{まき}を^を一^いっ^いさ^いい^いつ^つか^か、す^すべ^べて^て枯^かれ^え枝^だだ^だけ^もで^で燃^もえ^え
 続^{つづ}け^けて^てい^いま^まし^した^た。枯^かれ^え枝^だに^に刺^さした^{した}ウ^うィ^いン^んナ^なー^さを^を
 焙^あっ^たて^た食^しべ^べたり^りは^はし^しま^まし^した^たが、か^かま^まど^どな^など^ど
 料^り理^りが^がで^でき^きる^るよ^よう^うな^な器^き具^ぐを^を作^{つく}っ^って^てお^おら^らず^ず、
 本^{ほん}当^{とう}に^にも^もう^う、^{ひる}昼^{ひな}日^{なか}中^おの^お落^おち^お葉^はた^たき^き”と^とい^いう^う、

【「障害者の防災」に関する取り組みについて】

私のこの一年は入会二年目ということで会の雰囲気にも慣れ、まずは居心地よく楽しく、かつ有意義に過ごすことができました。

この一年の私のメインは、ペンギン会議で話題になったのを機に始めた「障害者の防災」に関する取り組みでした。

「取り組み」と言っても「少しずつ勉強を始めた」だけですが、それでも最初は「障害者の防災」と言っても私には雲をつかむような話で「いったい何から手を付けていいか」も分らず、とりあえず最寄りの身体障害者地域生活支援センターを訪ねて相談してみました。

すると「障害者の防災は私達も取り組まねばならない課題だと認識していましたが現在のところ殆ど手付かずの状況です。これを機に一緒に協力してやっていきましょう！」と心強いお言葉を頂きました。

それ以来、地域の活動家の交流の場「やましゴーゴーなGOGOカフェ」をはじめ、震災や防災関係の講演会などを聴きに行ったり、2月には向島ニュータウンでの障害当事者の避難訓練とそのタウンミーティング「むすび塾」を見学させて頂きました。

また、私自身はぼちぼちですが書籍やインターネットの関連ページなどを読んで情報・資料を集めつつあります。

それらがある程度まとまった時点で「障害者の防災」についてのホームページを立ち上げる予定です。（近日中？）

ホームページが完成しましたらペンギンニュースやチラシなどでお知らせするつもりですので、それらをご覧の上、是非一度アクセスして頂きますようお願いいたします。

更に6月初旬には当会のメンバー・スタッフ数人と共に東日本大震災の被災地を訪問する予定です。

訪問の主な目的は「被災地を直に見て、被災者の方々の話を直にお聞きして、当会の支援のあり方を探ること」ですが、被災地で見聞きしたことを「障害者の防災」を考える上でのヒントにさせて頂きたいと思っています。

将来的には「障害者防災の啓蒙のためのイベントを企画できたらいいな！」とか、いろいろ夢（妄想？）は広がっていますが、まずは足元をしっかりと固めて一歩ずつ進んで行く所存です。

どこまで出来るかは分かりませんが、ご協力・ご支援の程どうかよろしくお願い致します。

しげしゅうさく
繁周作



【初めて銃口向けられました】

さくしゅう おきなわ たび はなし
昨秋に沖縄を旅した話です。
ペンギンが介護派遣事業所として加盟している、居宅介護派遣事業所連絡協議会（居連協）という会があります。その会の有志数名の方が、「平和と福祉を考える」というテーマのもとに毎年秋半ば、沖縄へ研修旅行に行っておられます。反戦・平和を目指す立場で、もう10年以上続いているこの集まりには、『カタンナーパの会 ※』なるチーム名がついています。ペンギンからも、スタッフ及び関係者がそれぞれ数年おきにタンナーパの沖縄旅行に参加しており、昨年は5年ぶりにユグチが行って来ました。



がつなか す じき おきなわ べいぐん
10月半ば過ぎだったその時季の沖縄は、米軍
ふてんまきちへのこいせつ ぜ ひ さいだい そうてん
普天間基地辺野古移設の是非を最大の争点と
する、沖縄県知事選挙を直前に控えていま
した。“タンナーパの旅”ではその年ごとに、
おきなわ ないよう こ もくてき せつてい
沖縄ならではの内容の濃い目的が設定され
ますが（例：離島（久米島）での沖縄戦を含
めた研修→「久米島の虐殺」など）、この

じゅうよう ちじせん ふ みごととうせん
重要な知事選を踏まえ、こののち見事当選を
果たすことになる翁長雄志候補（当時）支持の
もと、自分たちの生活をなげうって、辺野古の
浜や高江の森、あるいは普天間基地・辺野古キ
ャンプ・シュワブの前で、座り込みなど基地
移設反対・阻止の闘いを継続しておられる
現地のみなさんの支援を、という明確な目的
での“タンナーパの旅”となりました。

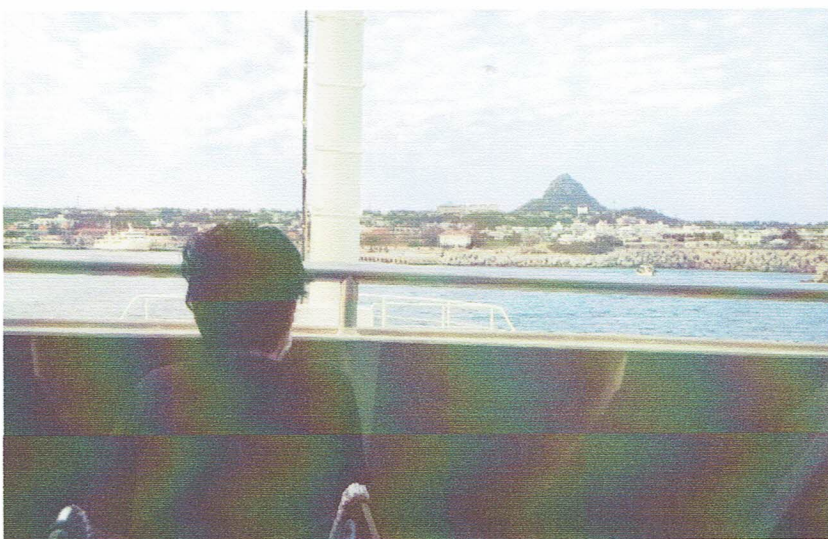
おきなわかくち であ きち いせつはんたい しじしや
沖縄各地で出会った基地移設反対の支持者の
みなさんのテンションはとても高いように見え、
ほうちゅうまえ じぜんがくしゅう み
訪沖前にタンナーパの事前学習で見せて
頂いた、「オール沖縄」のかけ声のもと、
はんたいは ちから けつそく ようす うつ
反対派の力が結束していく様子を写した
えいざう
映像そのままのパワーを感じました。
（例1：移動の車中から応援の
ことば さい
言葉をかけさせてもらった際の、
べいぐん きちまえ すわ こ とうそうちゅう
米軍基地前座り込み闘争中のご
ねんばい かたがた たいへんげんき
年配の方々の大変元気…というか、
あつ はんのう れい いのち
すごく熱い反応。例2：「命がけ
おながこうほし じ こうどう と く
で（翁長候補支持への行動に）取り組
まないと！」と、いつもの笑顔で、し
かしながら非常に力強く話してお
られた、ある自立障害者の女性）。

じき おきなわ ちい かか
あの時期の沖縄では、いくつもの小さな関わりが一つになり、数週間後の翁長候補の勝利に結びついた…ということですが、自分たちの住んでいる地域で、あれほどの市民の関心を引きつける選挙戦が展開されることなんてある

のかな？と思わされます（これを書いている
げんざい きょうと きょうとふ ふ し ぎかいせんきよせん
現在、京都では、京都府・府市議会選挙戦の
ま さいちゅう きじつまえとうひょう はやばや
真っ最中です。期日前投票を早々とすませ
たこの身にとっては、あの選挙カーからの
かくせいき
拡声器がやかましいです）。

げんざい おきなわ けんみん い し
現在の沖縄は、県民の意思などおかまいなし
に、というより秋の県知事選ではっきりNOが
しめ せいふ
示されたことで、政府の「ようし、そっちがそ
ういうつもりなら…」と、今までは表に出さ
なかつた彼の島へのあからさまな表 情
ウィズ けんりよく む だ
(withカネ&権 力)が剥き出しになっています。
おきなわしんこうよさん おおはばさくげん への こえんがんぶ
(沖縄振興予算の大幅削減・辺野古沿岸部の
かいいてい ちょうささいかいきようこう しん ち じ
海底ボーリング調査再開強 行・新知事への
めんかいきよひ がつ かんぼうちょうかん
面会拒否←この4月ようやく官房長 官との
めんだん
面談が…)

いま き ち おきなわ お
いま、基地をめぐって沖縄で起きていることに
ついては、ネットその他でチェックされたほう
が…なので、秋のタンナーパの旅で印象に残
すこ か
ったことを少し書きます。



い え じま わた と き はなし
伊江島に渡った時の話です。

カーフェリーにエレベーターが付いて、車 イ
スで甲板に上がる念願がかないました。
しゅうがくりようこう こうこうせい いちだん の あ
修学旅行らしき高校生の一団と乗り合
せていたのですが、後で聞いたところでは、彼
らは“民泊”といって、宿 泊施設ではなく伊江
島 じま いっぱん じゅうみん ほう かくかてい はん
島の一般の住 民の方の各家庭に班ごとに
ぶんしゆく い え じま
分 宿 することになっていました。伊江島には
「ヌチドゥタカラ(命 こそ 宝)の家」という
はんせんへいわしりようかん ほんど
反戦平和資料館があります。そこでは本土か
らの しゅうがくりようせい ひさん おきなわせい きょうくん
修学旅行生が悲惨な沖縄戦を教 訓と
へいわ たいせつさ まな と く
した平和の大切さを学んでいくという取り組
みが何年も 行 われており、館内には開館者の
はんせんじぬし こ あ は ごんしょうこうし ちゅうこうせい
反戦地主、故・阿波根 昌 鴻氏が中高生たち
こうわ しゃしん
に講話をされている写真もあります。ところが
きんねん しゅうがくりようせい へいわがくしゅう
近年では、修学旅行生が平和学 習にヌチ
い え おとず
ドゥタカラの家を 訪 れないそうです。

いま きょういくげんば へいわ まな きかい
今の教 育現場では平和について学 ぶ機会を
も う へいわ けんぼう
ほとんど設けないとこもあり、平和の憲 法
をちがったものにしていこうとする政府の
い と へいわきょういく ひつよう
意図が、「平和教 育など必要ない」
かたち じもち と く
という 形 で、こうした地道な取り組
み ないがし いったん
みを 蔑 ろにしている一端を
かいまみ き しま
垣間見た気がしました。また、島で
いっぱく つぎ あさ とうない じどうしゃ
一泊した次の朝、島内を自動車で
あんない
案内してもらっていると、レンタサ
イクルを駆った高校生たちもあち
こちをまわっていました。彼らの口
からは「米軍基地って、ほんとカッ
コいいよな!？」という言葉が発され
い え じま めんせき わり
ていました。伊江島の面積の4 割を

し くだん べいぐん き ち
占める 件の “カッコいい米軍基地” のゲート
まえ い なん ぶ き たずさ
前に行ったときには、何の武器も 携 えていな
わたし む み は ほしょう じゅう
い 私 たちに向けて見張りの歩哨が 銃 をかま
えながら睨みつけていました。

じゅうどうしょうがいしゃ じりつせいかつ しょうがい
重度 障害者の自立生活は、障 害のある
にんげん す おな ちいき ひと
人間が住んでいることを同じ地域の人たちに
わす み み き こ
忘れられる、見て見ぬふりを決め込まれると
いのちと ききかん あ な た
命取りになる危機感がとなり合わせで成り立
っています。さらにどんな 形 であれ、常に 銃
む む じょうきょう くわ
を向けるまたは向けられる 状 況 が加わると、
じぶん とほう じかん さいさい きず
自分たちが途方もない時間をかけて細々と築
いてきたものなどひとたまりもなく………と
あ まえ じっさい じゅうこう む
いう当たり前のことを実際に 銃 口 を向けら
れつぎ せだい へいわ と く つづ
れたこと、次の世代への平和への取り組みが続
けられていない様子を見知ったことで生々し
くかん
く感じさせられました。

ユグチマコト

ちから
※ カ タナーパ：
むかし い え じま す おおおとこ
その 昔、伊江島に住んでいたという 大 男。
りんそん たたか い え じま ぐすくやま
隣村との 戦 いで伊江島のシンボル・城 山
うえ おおいし てき な
（タッチュー）の上から大石を敵に投げつけ
たいさん おお
退散させたという。タッチューにはその大き
あしあと いわ ちからも
な足跡とされる岩のくぼみがある。『力持ちの
たまな は い み おきなわほくぶ ほうげん
玉那覇さん』という意味。沖縄北部の方言で
たまな は さんしん
玉那覇は『タンナーパ』となる（ブログ『三線
さんしん
やー 三線のうちなーたいむ』 「★伊江
ぐすくやま ぐすくやまこうえん
島 城 山（イージマタッチュー）～城 山 公園
ねん がつ にち
その2 2008年7月29日」より引用）。タンナー
かい い え じまざいじゅう じりつしょうがいしゃ
パの会では、伊江島 在 住の自立障 害者であ
きむらひろこ みんなしゅく つち
る木村浩子さんがオーナーである、民 宿『土
やど りょう い え じま
の宿』を利用することがよくあり、伊江島ゆか
めい かん こんかい つち
りのチーム名が冠せられています。今回、土の
やど いっぱく
宿にも一泊しました。



いまさら しゅうさく ともこ じゅくねんけっこんひろう おこ
【『えっ!? 今更? 周作 & 朋子の熟年結婚披露パーティ』を行ないました】

いっさくねんはる かい そろ くわ
一昨年春にペンギンの会に揃って加えてい
ただいた繁周作と井上朋子が、昨秋10月
ついたち にゅうせき がつ にち しん みやこ
1日に入籍し、11月29日に新・都ホテル
で『えっ!? 今更? 周作 & 朋子の熟年
けっこんひろう おこ
結婚披露パーティ』を行ないました。



ていばん けっこん
「タタタターン、タタタターン…」定番の結婚
こうしんきよく にゅうじょう・・・ おも
行進曲で入場…と思いきや、「フンワ
カタッタ、フンワカタッタ、フンワカフンワカ
フン…」と何やら新喜劇のテーマソングに変わ
り、客席の拍手もノリの良い手拍子へと変わる中、

しゅう とも
「こんにちわ～! 周くんで～す。」「朋ちゃん
で～す。」

ほんじつ みなさま いそが なか わたし
「本日は皆様お忙しい中、私たちの
どくえんかい
独演会においでくださりありがとうございますご
ざい
ま～す!」

どくえんかい きょう わたし じゅくねん
「え!? 独演会? 今日は私たちの熟年
けっこんひろう
結婚披露パーティですよ。」

じゅくねんけっこん
「え!? 熟年結婚? ケッコンっていつ…?」
ふう とうにん まんざい はじま
パーティはこんな風に当人の漫才から始
まりました。

ねん さいかい だいがくじだい
それでも20年ぶりに再会した大学時代の
ゆうじん まった おどろ ようす ともこ
友人たちは全く驚いた様子もなく「朋子の
ふうが
ことだからもっと風変わりなパーティをやる

おも あんがい
と思ってたわ。案外フツウのちゃんとし
ひろうえん
た披露宴じゃないの～～。」と、さすが
です。

たいそう なに
「ホントは大層なことは何もせず、コッ
せき い す
ソリと籍を入れるだけで済ませたい…」
ほんね わたし
というのが本音の私たちでしたが、でき
るだけ多くの友人知人には「今後もよろ
しく。」と挨拶したい、結婚となるとそ
かどで いちばん み おや
の門出を一番見たいのは親だろう、とか
かんが ひろめかい
ツラツラ考えるとやはり「お披露目会ぐ
らいはしなきゃね」となりました。しか

みなさま まえ あいさつ
し皆様の前できちんとした挨拶を…なんて
かんが きんちょう き おも
考ただけでも緊張して気が重くなるばか
りだし、もう一つ白状すると普段は飄々
ひと はくじょう ふだん ひょうひょう
としてるようでも意外と感激屋の二人なので、
あいだじゅう さいしよ さいご
パーティの間中、最初から最後までウルウ
ルしっぱなしでは却ってお客が退いてしま
うだろうという心配があり、それだけは何と
しんぱい なん
しても避けたいと苦肉の策でしよっぱなから
まんざい わたし
漫才をすることになったのです。私たちの
へた まんざい はじ ご みな
下手な漫才で始まれば、その後の皆さんのス
よきよう き らく おも
ピーチや余興も気が楽だろうという思いもあ
ったのです。



わたし ふたり じつ おな さんいん う ねん
 私 たち二人は実は同じ産院で生まれ、50年
 いじょう まえ ようごがっこうにゆうがく で あ しょうちゅう
 以上も前に養護学校入学で出逢い、小 中
 がくぶ ねんかん どうきゅうせい おとな
 学部の9年間の同級生で、大人になってから
 はそれぞれ別の道を歩んできて、縁あって
 ねん さいかい ねん つ あ
 2012年に再会し、2013年から付き合いはじめ
 ひ むか
 てこの日を迎えました。
 いまさら じゆくねんけつこん おお
 今更ながらの熟 年 結婚ではありますが、多
 みなさま いわ いま
 くの皆様に祝っていただいて今があることを
 たいせつ
 大切にして、これからの生活を充 実させて
 おも こんご なに
 いこうと思います。今後とも何とぞよろしくお
 ねが
 願いします。

しげ ともこ
 繁 朋子

まんざい しょうしょう
 ところが漫才で少 々ウケてくださったのに
 き よ ふたり ご きやくせき じゅんかい
 気を良くした二人はその後、客 席を巡 回す
 あいさつ はんせい しょうかい
 る挨拶やこれまでの半生を紹 介するスライ
 おお しゃべ
 ドショーでも大いに喋 りすぎ、タイムスケジ
 こうはん
 ュールをかなりオーバー。おかげで後半の
 えんもく に こ えんそう きよく はやまわ
 演目の二胡の演奏はゆったりした曲 を早回
 ひ ひ かた きよくすう へ
 しで弾いてくれたり、弾き語りは曲 数を減ら
 みじか
 してもらったり、スピーチは短 めにとなり、
 ねが ゆうじん ずいぶん もう わけ
 お願いした友人たちには随分と申し訳ない
 ふう
 ことになってしまいました。こんな風にどこま
 ふ ぎ り おお
 でもマイペースで不義理をしていることの多
 わたし とうじつ
 い 私 たちですが、ありがたいことに当日は75
 めい しんきゅう ゆうじん しんぞく あつ みな
 名の新 旧の友人、親族が集まって、皆それ
 かぎ じかん なか おお も あ
 ぞれ限られた時間の中で大いに盛り上げてく
 たいへんかんしゃ
 ださったことに大変感謝しています。ペンギ
 かい ぜんじつ たいいん みやけ
 ンの会からは前日に退院されたばかりの三宅
 めい しゅつせき ゆぐち
 さんはじめ7名が出席してくださり、湯口さ
 いっぱんてき
 んのスピーチで「一般的にカップルがノロケ
 まわ もの きぶん よ
 ていると周りの者はあまり気分が良くないこ
 おお ふたり ふ し ぎ まわ もの
 とが多いけど、この二人は不思議と周りの者
 き も
 をほのぼのとした気持ちにさせてくれる」と、
 ごくじょう うれ ことば
 極 上の嬉しい言葉をいただきました。



【ペンギンの会 2014年度の行事・できごと】

が つ に ち
★4月30日（水）

せい かつ ほ ご かい あく はんたい ひとひと かい
「生活保護改悪に反対する人々の会」

ぜんしんと も かい きょうと
(JCIL、前進友の会、京都ユーザーネットワ

ーク、ユニオンぼちぼち、ペンギンの会、ほか

こじんゆうし しゅうかい
個人有志)による集会 & デモ

ばしよ ひがしやま しみんかつどう
場所：東山いきいき市民活動センター

デモコース：市民活動センター→四條河原町

きょうとしやくしよ
→京都市役所

が つ に ち
★5月16日（金）

ふしみくじりつしえんきょうぎかい かいごう しょうがいとうじしゃ
伏見区自立支援協議会の会合で障害当事者

こうし かい ゆぐちまこと
講師としてペンギンの会メンバー、湯口真が

こうえん おこな
講演を行う

が つ に ち
★5月18日（日）

ひがしにほんだいいんさい ひ さいしょうがいしやしえん がいと
東日本大震災被災障害者支援街頭カ

ンパ (JCILと合同)

ばしよ しじょうかわらまち ぼきんがく
場所：四條河原町 ※募金額 ¥25,568-

が つ に ち
★8月28日（木）

かい ひがえ りょこう
ペンギンの会 日帰りレクリエーション旅行

ばしよ
場所：りんくうアウトレットプレミア、

いずみさのぎょこうあおぞらいちば
泉佐野漁港青空市場

が つ に ち
★10月15日（水）

び ばしよ
たき火 場所：YMCAリトリートセンター

が つ に ち に ち
★10月19日（日）～23日（木）

おきなわけんしゅう ちから かい ゆぐちまこと
沖縄研修(カタンナーパの会)に湯口真、

まなべそうすけ さんか
真鍋壮介が参加

へのこ たかえ いえじま まわ
辺野古、高江、伊江島などを回る

が つ ふ つ か
★11月2日（日）

だい かい ひがしくじょう しゅってん
第22回 東九条マダンに出店

ばしよ きゅう きょうとしりつさんのうしょうがっこう
場所：旧・京都市立山王小学校

が つ に ち
★11月29日（土）

しげしゅうさく しげともこにゅうせき ひろめかい
繁周作・繁朋子入籍お披露目会

ばしよ しんみやこ
場所：新都ホテル

が つ に ち
★1月17日（土）

しんねんかい
ペンギン新年会

ばしよ エーエヌエー
場所：ANAクラウンプラザホテル

きゅう きょうとぜんにつくう
(旧・京都全日空ホテル)

が つ に ち
★3月22日（日）

ひがしにほんだいいんさい ひ さいしょうがいしやしえん がいと
東日本大震災被災障害者支援街頭カ

ンパ (JCILと合同)

ばしよ しじょうかわらまち ぼきんがく
場所：四條河原町 ※募金額 ¥56,239-

ねん がつ ねん がつ
【2014年4月～2015年3月まで

かい かいひ みなさま
ペンギンの会に会費・カンパをいただいた皆様】
けいしょうりやく じゅんふどう
(敬称略・順不同)

つきかいひ
☆月会費

三宅光男 小山弘 李清美 湯口真 繁朋子 繁周作

けい まん せんえん
計 5万4千円

☆カンパ

濱頭直子 金満里 矢野恵子 皆川夏樹 広岡一
北角和恵 河内啓介 河村史子 松浦武夫 正司拓生
東真理子 藤田光恵 金光敏 岩本豊・京子 石塚晶啓
湯口憲子 杉山晶 森本豊 筒丸優子

けい まん せんえん
計 12万7千円

いじょう、 かいひ みなさま
以上の、会費・カンパをいただきました皆様、そして
た しえん みなさま ところ かんしゃ もう
その他ご支援をいただいた皆様に心より感謝を申し
あ
上げます。

じりつしょうがいしゃ かい
自立障害者グループ ペンギンの会

〒612-8411

きょうとしふしみくたけだくぼちょう ばんち
京都市伏見区竹田久保町62番地

あだち たけだ ごう
足立ハイツ竹田132号

ちかてつからずません ばしえき とほふん
(地下鉄烏丸線 くいな橋駅 徒歩4分)
でんわ とも
電話：075-755-8177 (FAX共)